

いわき荘

旅慣れた人の人気温泉宿

世に人気の温泉宿は数多く、ゴールデンウィークや夏休みシーズン（特にお盆の頃）、紅葉シーズンなどは早くから予約で埋まってしまい、泊まりたくてもなかなか泊まる機会を持ってないままになる、ということもある。



いわき荘は快適な温泉リゾートホテルだが、飾らない素朴さも魅力だ

これらの時期に加えて、秋田県であれば秋田市の竿燈まつり期間中や、大曲の花火の日、青森県であれば青森市のねぶたや弘前市のねぶたの時期（8月上旬）なども予約がとりづらい。

青森県弘前市郊外の「アソベの森いわき荘」も、そんな人気の温泉宿の一つ。全37室と、比較的キャパの大きな温泉宿だが、それでも前述の時期には予約がとりづらい。しかし、一度は泊まってみたい宿だし、泊まれば満足度も高い宿だ。

いわき荘については、この連載でも平成14年に早々と紹介しているが、その後、客室のリニューアルや築百年の古民家を移築して設けたお食事処など、宿の魅力に一層の磨きがかかった。



津軽の春は岩木山の残雪と満開のリンゴの花が目鮮やか（5月）



宿のすぐ裏手が岩木山



食事処「和土菜」でカウンターダイニングを楽しむ



希望や好みで 多様に選択

いわき荘の魅力の一つは、部屋タイプや食事のコースで選べる選択肢がとて多いことだろう。客室は10畳の和室を最多タイプとして、他に和洋室、洋室ツインルーム、源泉掛け流し温泉露天風呂付き洋室と和洋室などがある。

特徴的なのは、車いすでも利用しやすいバリアフリー仕様の客室が3室もあり、また、一人旅向けのシングルルームも4室あることだ。

料理コースの選択肢も非常に多い。会席料理や津軽卓袱料理（いずれも料金は3段階）のほか、炭火焼



囲炉裏焼



レストラン「アソベの森」



料理やカウンターダイニング料理などがあり、さらには食事会場も、全テーブル席のレストラン、古民家風の食事会場、個室、離れなどがあって、選ぶのに迷うくらいだ。宿のホームページや宿泊予約サイトなどには、客室タイプと料理コースがセットになったおすすめプランがあるので、それらの中から選んでもいいし、判断に迷うようであれば、電話で宿の人と相談しながら決めてもいいだろう。

客室によつては、同じタイプでも窓から岩木山が間近に見られる部屋



和室12.5畳タイプの角部屋



一人旅派にも嬉しいシングルルームが4室用意されている



和室10畳タイプは最多の全15室

と白神山地を遠望できる部屋とがある。希望があれば相談してみるといいだろう。

総青森ヒバ造りの大浴場には、源泉掛け流しのナトリウム・マグネシウム・炭酸水素塩・塩化物泉の薄茶色の湯が注がれていて、熱すぎず長くゆつたりと浸かっていられる。ヒバの木の香りもかぐわしく、旅愁を感じ

車か鉄道で旅行気分

いわき荘へは、秋田市中心部からだと約160km。宿のチェックイン午後1時、チェックアウト正午で滞在

させる温泉だ。介抱を必要とする同行者との旅では、温泉露天風呂付きの部屋を選ぶのもいいだろう。



総ヒバ造りの大浴場



定員3名の露天風呂付き洋室B



原生林に囲まれた野趣に富んだ露天風呂



民芸調の演出に癒される

最長23時間を館内で贅沢に過ごしてもいいし、また、岩木山山頂を目指す津軽岩木スカイラインや奇岩怪石の続く日本海沿岸ルートなど、ドライブをワイルドに楽しむのもいい。

宿とJR弘前駅の間で日に数本の無料シャトルバスも運行(2日前まで要予約)されているので、五能線經由の「リゾートしらかみ」で弘前まで鉄道旅を楽しむのも一興だ。また、JR大館駅にもシャトルバスを運行しているので詳細は問い合わせたい。

(文・写真ⅡかつりゆうえつⅡ秋田市)

晴れた日には屋上から白神山地が遠望できる

アソベの森 いわき荘

I W A K I S O U

〒036-1343 青森県弘前市大字百沢寺沢28-29

TEL.0172-83-2215 FAX.0172-83-2855

<http://www.iwakisou.or.jp>

※各種宿泊プランがあります。詳細はホームページをご覧ください。電話でお問い合わせください。

